

平成 28 年度 第 6 回 理事会議事録

日時：平成 28 年 9 月 27 日（火）19：00～20：30

場 所：県士会事務所

出席：(理事) 小林伸、高村、磯野、有泉、井村、名取、
北山、古屋、三科、大西、
(部長) 入倉、小林

書記：鷹野

会員管理情報

慶事 0 件 弔事 1 件 施設数 125 会員数 841 名 (施設
会員 785 名、自宅会員 56 名) (9 月 27 日現在)

I. 審議事項 (全 3 題)

1. 介護予防・健康増進キャンペーン補助事業について (大西広報局長)

日本理学療法士協会より、以前話しのあった理学療法週間以外の理学療法啓発事業費も本年度に限り対象にすると連絡があった。12 月 15 日が申請の期限となっている。

理学療法週間事業は、パンフレット・広告費 106,000 円で申請。承認されたと連絡があった。

理学療法週間事業とあわせて 50 万円が上限額のため、今年度申請できるのは 394,000 円。

(意見)

- ・一事業に対して 50 万か、県士会に 50 万か？
→県士会に対して 50 万円。
- ・広報局で作成したグッズ代と袋代 179,280 円を計上したい。
- ・ねんりんピックは申請できるのではないか。
- ・公開講座については、申請期限までに事業が終了しないので難しい。
- ・申請段階で事業が終わっていなければ申請できないのか？
- ・領収書など、どの程度書類が必要になるのか？

(結論)

- ・協会へ申請期限以降に事業が終了するものの取り扱いについて確認→大西局長
- ・その結果によって関係局と連携をとり、申請をしていく。

2. 第 20 回山梨県理学療法士学術集会レセプションについて (名取学術局長)

今回のレセプションについて、費用を計上できていない。法人化移行に伴い、参加費をレセプションの活動費としてあてることができない。現状の予算では運営が難しい。今回、年度当初行われた交流会と同様、事務局主催として開催するよう検討していただきたい。多くの方が参加できるように、事前登録したり、内容を事前に案内したり工夫をしていき

たい。企画の面でも 20 周年ということで振り返られるような内容を工夫していきたいと考えている。

(意見)

- ・予算的には大丈夫か？勘定項目はどうなるのか？
→交流会を参考に確認をする。
- ・2 日間の研修会で参加費は例年いくらか？
→例年 1,500 円。今年はまだ決定はしていないが、2,000 円を予定している。例年弁当代込。今年度はそこも含めて検討中。
- ・参加費用とレセプション費用を合算してどの程度負担になるのかを考えた上で、参加者のことをどこまで考えるか。県士会としてどのくらい援助すれば、多くの人が参加してくれるのかを考える必要もあるのではないか。
招待者がいると思うが、どのくらいいて県士会の負担が出てくるか。
会場の広さと最大どのくらい許容できるのか。
レセプション開催と方向性に異論はないが、もう少し参加費を含めた概算を出していただきたい。
- ・レセプションの性格上、なかなか人が来る企画ではないのではないか。安くすればくるかということでもないのではないか。それであれば、内容と広報の仕方、いつも来ない人が来てくれることに意義をもたせることが重要視して考えた方がいいのではないか。その上で、お金のことを考えたときに参加費とレセプションの費用を含めた中で、会員にどの程度負担してもらうのが妥当なのかを考えて、県士会としてどこまで意義のあるものであればいくらか負担しましょうと導き出していく方がいいのではないか。
- ・当日参加者はどうするのか？
- ・デイパスを作るか。
→今回は作らない方向でいきたいと考えている。

(結論)

レセプション自体はいい企画で問題はない。次回の理事会までに具体的な参加費を確定させるのと、概ねの参加人数を出していく。
内容を詰めながら、次回理事会で提案していく。

3. 事務員の雇用について (有泉事務管理局长)

非常勤職員就業規則、雇用契約書を作成した。どのような業務内容を行ってもらえるか現在も検討中。

10 月初旬までに面接を行いたい。日程調整をしていく。今年度は 1 名。PT の資格をもった方を雇用したいと考えているので、来年度は最大 2 名体制になるかもしれない。

(意見)

- ・事務所で勤務すると環境設定をする必要がある
→電話、インターネット環境等整えていく必要がある。

- ・一回やってみないと、何ができるのかお願いできるのかもわからないことも多いのではないかと。

(結論)

連絡を取って面接をすすめていく。会長・副会長と日程調整をしていく。

就業規則・契約書に関して、ご意見等あれば連絡をいただきたい。

基本的には事務所に詰めて作業をしてもらうことを理想として交渉していく。

4. 関ブロ士会長会議の議題について (小林会長)

- ・東京オリンピックに関連するスポーツリハに関連することについては質問する予定。
- ・プログラム集について、ブロックとして統一してほしい。山梨で実施した時はダウンロードにした。特に混乱するようなことはなかった。金銭的には作らなかったことで少し黒字化した。発送にかかる労力と費用が負担となる。
- ・関ブロの中身を検討する委員会で、関ブロでできない機能として災害対策のことがあがっていた。現在 JRAT が起動し始めている中で事務局機能が麻痺したときの代替、都県士会同士でどうカバーし合えるか検討した方がいいのではないかと考えたがそこから進展していない。協会として、関ブロのあり方について問いかけてもいいかと思う。

5. 「長寿たすけ愛講演会」開催申請について (井村企画局長)

(意見)

申請期限が今月中。行政の後援が必要だが、もらえるのか？

→日程、場所などが決まり、実施要項があれば後援は申請できると思う。

補助金はいくらまでもらえるのか？

→集客規模によって決まっている。500人未満は最大100万円。

申請者の住所をどうするか？

→財団へ確認してほしい

(結論)

財団へ問い合わせ、後援について現在申請中でも申請ができるか確認をして対応する。

補助金の申請額は、100万円とする。

II. 報告事項 (全4題)

1. 各種委員会報告

- ・地域支援事業等推進委員会

11月15日、地域ケア会議の実践報告を受けながら研修会を開催予定。10月の委員会で内容について検討する。

- ・訪問理学療法委員会

11月12日(土)13日(日)訪問リハ実務者研修会が石和温泉病院クアハウスで開催予定。様々な立場

の方々から我々への提言をいただく内容。

- ・特別支援教育委員会

11月11日(金)19:00~甲府支援学校で開催予定。PT・OT・ST向けにイントロダクション。

2. 企画研修部研修会について (井村企画局長)
臨床実習の研修会を11月16日に開催。講師は帝京科学大学 東京理学療法学科 豊田先生を予定。講師の提案で、事前に参加希望者の方の意見を送っていただいて講演の中で対応してもらう。来月早々に案内発送を行う。

3. 新人教育研修部新人教育プログラム研修について (北山生涯学習局長)
第1、2回新人教育プログラム研修会報告。次回研修会は10月26日(水)、11月4日(金)に開催予定。
4. 4士会(POS及びケアマネ)合同ワーキンググループ：研修会の開催について (磯野副会長)

各士会からメンバーを出し計8人で、9月20日に第1回目の話し合いがあった。

研修会を1~2月。今回は平日夜に開催。

県立文学館で予定人数を300名に設定。

コンセプトを「4士会のネットワークをつくるきっかけ作り」。内容は公演形式とシンポジウム。

「研修会のテーマをどうするか?」「3士会とケアマネ協会の合同ワーキンググループ会議の名称をどうするか?」を次回会議で検討する。

5. 「いきいき山梨ねりんピック2016」への出展について (古屋社会局長)

9月24日(土)に出展。11名の士会員が参加。

天候等の関係で来場者は168名。ロコモ検査や相談、啓発活動を行った。ロコモ検査がメインになってしまい、啓発活動については課題。

万が一、ロコモ検査で来場者が怪我をされた場合の保証について相談したい。

→士会が加入している保険に該当があるか確認をする。他に簡単なものとしてはボランティア保険があると思う。(確認：有泉事務管理局长)

→今後の課題として、テストするにあたってリスクの説明なども必要になるかもしれない。事故を考えると体験コーナーのありかたについても検討が必要かもしれない。

6. 事務管理局 (有泉局長)

①9月3日、協会主催事務局長会議報告

- ・理学療法士講習会の補助金について
- ・会員管理・会費徴収について
退会の取り扱い、会費の前納について
- ・地域医療ビジョン・地域ケアシステムの対応について
士会事務運営コンサルティング事業
- ・シルバーリハビリ体操の普及についてモデル事業

・協会の任意保険について

②10月1日、協会主催事務局員会議開催

→事務局長が出席予定

③中間監査について

来月中間監査になる。資料等提出をお願いします。

④熊本地震の義援金について

ホームページへ掲載した。納付し熊本土会からお礼状もいただいたので報告します。

⑤医療功労者の推薦について

今回推薦なし

III. その他

1. ホームページについて (小林会長、有泉局長)

・研修会の日程について、Yahoo!のカレンダー機能を利用して確認と入力をお願いします。

・沿革、歴史、議事録、サポーターズなどの内容確認、掲載をお願いします。

2. 小川先生の役割 (小林会長)

参議院厚生労働委員会委員、参議院議員運営委員会委員、自民党組織運動本部団体総局厚生関係団体委員会 副委員長に決まった。

IV. 次回の理事会日程について

日時 平成28年10月25日(火) 19:00～

場所 県土会事務所

連絡 19:00～中間監査を実施後、理事会を開催。

10月22日(金)までに審議事項および資料を事務管理局(有泉)へ提出する。

議題がない場合でも、事務管理局へ連絡する。

V. 会長より

いよいよ上半期のまとめで来月は中間監査がありますので、ご協力をお願いします。

直近ではねりんピックが24日にあり、150～160名の来場者があったと報告ありました。ご苦勞でした。盛況で良かったと思います。

来月になると、連盟関係で10月21日懇親会、10月22日意見交換会があり、斉藤事務局長と一緒に出席してきます。

翌週には、横浜で関ブロが開催される。その際、士会長会議があるので、何か議題があれば出していきたい。東京オリンピックのスポーツリハの関係で研修や集まりがあるので、今後の行動や派遣等については議題にあがると思うが、他にも議題があればお願いします。

今月の上旬には、協議会の方で企画した災害対策の研修会が開催された。栗原先生をお招きして、約200名の参加があり熊本の震災のことを含めて、JRATをどうやって行くかお話があった。

今後いろいろな研修会が企画されている。粛々と進めていただければと思います。